



子どもものしつけと父親の役割

《ダメなものはダメ》父親の厳しい姿勢が求められています…。



上映時間 21分 [C#2955]

ビデオ版 69,300円(本体 66,000円)



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

<http://www.toei.co.jp/edu/>

企画意図

「嘘をつくな」「弱い者いじめをするな」など、人として一番大切な基本的ルールやマナーの躰・教育を父親自らが厳しく躰ていく」少年犯罪が社会問題化している昨今、そういった父親の姿が求められています。

子を持つ親たちに、特に父親の家庭教育への参加を唱え、子どもの成長にとって父親との触れ合いが如何に大切かを訴えます。

内容

最近、金遣いの荒くなった**智也**（9歳）のことが駄菓子屋の店主・**シゲ**は気になっていた。

ある朝、智也は友だちの誕生日プレゼント代として2千円いると父・**雄一**から貰った。しかし、智也が実際につかったお金は…。

智也は、その日も友だちの**進**と駄菓子屋で遊んでいた。シゲにお菓子を差し出すが、3円足りない。諦めきれない二人は、お菓子をポケットに…。

シゲは智也の家に向かった。母・**由美子**に事情を説明し、「最近、友達におごったり、高価なおもちゃを持ってるの、よく見かけるもんですから。お金のつかい方が気になって」と付け加えた。「私も働いてますので、何かあったときのために子どもには多めにお金を持たせるようにしています」と由美子は思わず反論してしまう。

その夜、雄一との相談のなかで、智也がプレゼント代を実際より多くもらっていたことも判明。由美子は、雄一に店に謝りに行くように頼んだ。雄一は謝りに行くが、「お父さんが代わりですか？甘いですね。何か問題を起こしたときは、いつも代わりに解決してあげるんで

すか？」とシゲに叱られてしまう。

店を出た雄一は、子どもの襟首をつかんでやってきた**進**の父・**加賀屋**と出くわす。加賀屋は厳しい口調で命令し、進に謝罪させていた。「ごめんなさい」と謝る進。「シゲさん、ありがとう。これからも息子が悪さしたら些細なことでも教えてくれるかい」と加賀屋は頭を下げた。

その光景を見ていた雄一は、店から出てきた加賀屋に話しかける。そして、加賀屋の職場で二人は子どものしつけについて話し合った。「私なんか子どもも叱れない。父親失格ですね」と雄一。「私も、どうしていいのかわからないんですよ。よく考えてみると、親父と同じことをしてる」と言う加賀屋は、昔を思い出していた。障害者をからかったことで父に厳しく叱られたこと、泣いている息子を引きずりながら連れていき、深々と頭を下げる父親の姿…。「父親の役割って、子どもが将来社会に出て生きていくための、約束事を伝えることじゃないのかなって思うんです」と加賀屋。

翌朝、雄一は智也を叩き起こし、「服を着なさい。駄菓子屋さんに謝りに行くんだ」と言った。泣き出す智也に「お母さんもお父さんと同じ考えよ」と由美子。

駄菓子屋で雄一は智也に謝るように促す。躊躇していた智也だったが、ついに「ごめんなさい」と謝った。

学校へ向かった智也を見送ると、由美子もやって来た。シゲは「余計なこととしてごめんなさい。この性格はもう直らないね」と苦笑した。

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

プロデューサー・・・津田 辰己 監督・・・吉田 和義
脚本・・・新巻圭太郎 撮影・・・松丸 武彦

制作協力・・・吉田映像工房

2004年作品

s.

関東営業所 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業所 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区国泰寺町1-5-31 〒730-0042 ☎082-249-3930
高松出張所 高松市本町11-7 〒760-0032 ☎087-851-3766
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101